

令和 2 年 6 月 23 日

早期水稻情報 第 2 号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

田植え後から現在までの気象は、気温は平年より高く、降水量は少なく、日照時間は多く経過しました。

ジャンボタニシが少ない圃場では草丈はやや低いが、茎数は有効茎（株当たり約 20 本）が確保され、生育は良好です。一方ジャンボタニシが多い圃場では、浅水管理を行っているため、草丈が低く茎数が少なくなっています。

今後 6 月下旬には幼穂形成期になると思われます。

1. 水管理

生育が概ね順調なほ場では、すでに中干しを終え、間断かん水を行っているところです。今後、穂ばらみ期からは湛水状態にします。

☆生育調査結果☆(定点調査圃場)

【福津市津屋崎地区】

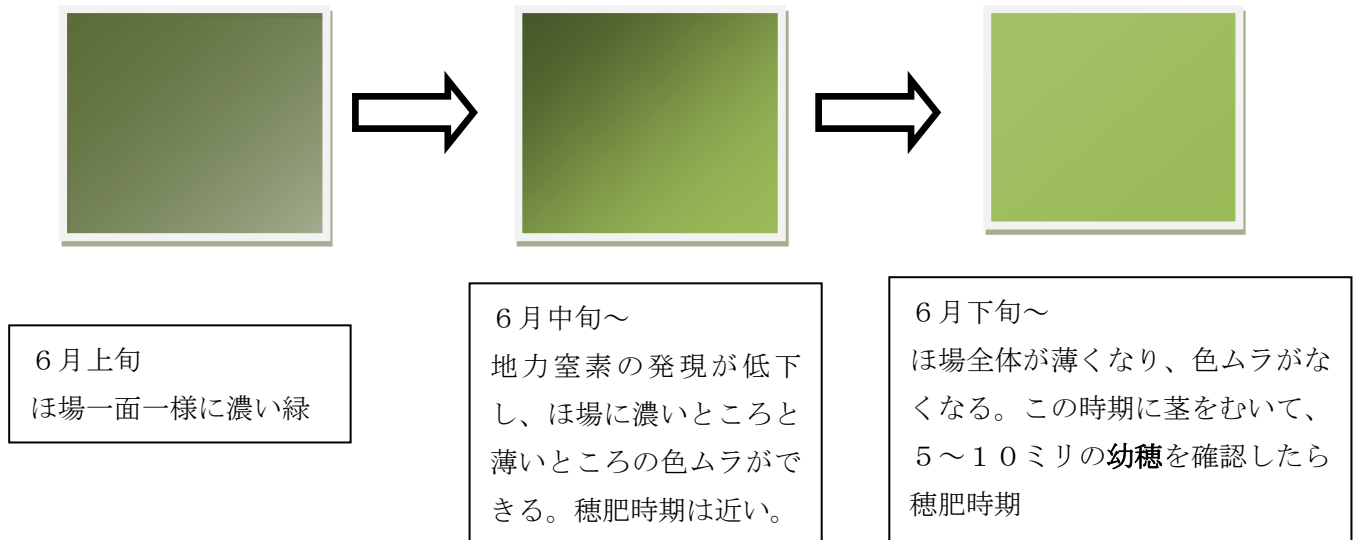
調査月日	5 月 30 日		6 月 10 日		6 月 19 日		
	草丈 cm	茎数 本数/m ² (前年比)	草丈 cm	茎数 本数/m ² (前年比)	草丈 cm	茎数 本数/m ² (前年比)	葉色
コシヒカリ	20	99(37%)	27	155(55%)	46	161(60%)	4.0
夢つくし	31	136(93%)	35	303(152%)	58	251(93%)	4.5

※調査田では田植え直後からジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)対策の為、浅水管理となっており、前年に比べ茎数は少ない。

2. 穂肥

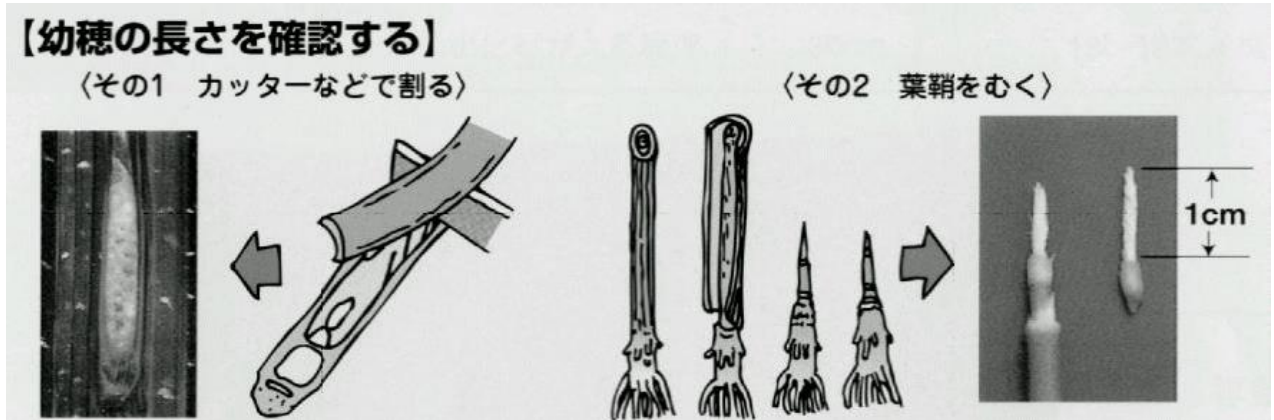
穂肥は、籾数の確保を図るために欠かせません。施用時期が早すぎると、下位節間（第一伸長節間）が伸長して倒伏しやすくなります。ほ場を見て状況に応じて施用してください。幼穂が 5 mm 程度確認できたら穂肥を施用してください。

【穂肥の目安】



※葉色がやや濃い場合は、施用時期を数日遅らせ、施用量もひかえめにしてください。また、葉色が薄い場合は幼穂を確認し、幼穂が5mm程度確認できたら穂肥を施用してください。

ほ場によって生育（幼穂長や葉色）が異なります。ほ場を確認してから施用時期、施用量を決めてください。



3. 病害虫防除

いもち病

いもち病を見つけたら、直ちに下記の薬剤を散布してください。

薬剤名	使用量(10a 当たり)	使用時期
コラトップ豆つぶ	250g	葉いもち 初発10日前～初発時
		穂いもち 出穂30日前～5日前まで